

週刊 経済 時事

所 36 社
行 町 登
社 事 775
時 原 日 行
計 田 4 発
主 幹 土 日 行
電 話 4 百 円
毎 週 土 日 百 円
定 価 3 カ 月 五
部 一

11万の署名確実

公営バス まとまれば本格的運動

五市公営バスの署名運動は十月一杯でしめ切る予定であるが、平市は予定の三万五千の署名があり、他の四市も順調に進んでいる。この署名は高校生からとったものである。署名がまとまれば直ちに運輸省に提出し、同時に政治的にも動きかけて認可を待てる方針で、諸市長は自信満々である。

労災保険加入の動き

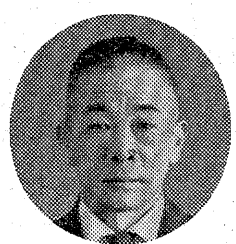
商店街神戸の場合を見る

最近労働災害の中で交通事故一入の動きが具体化してきた。平市も東北で有数の商業地帯であり商店街も形成されているので、こうした他地区の動きを調査され店員事故から生ずる災害を保障制度によって

論壇

市場の使命

市場の使命とは如何にして価格を維持し、よく処分するかを考慮し、今改めて述べなければならぬ時代となり、不足悩んだ過去を顧みると感慨無量なものがあろう。



青果物の需給と市場機構に就て

国井一美

戦後十数年の歴史は驚くべき変化を来した。過去のあらゆる物資の不足した時代においては、野菜はあらゆる路傍の雑草までも食糧とした戦時、戦後の混乱期を回想する想像に絶するものがある。その後徐々に生産状況の好転による主食糧の安定は、それと並行して、消費者は随時随所において、いくらかも入手出来る状態となり、生産面にお

ばかりか、生産品の貯蔵保管も複雑且容易でないものが、流通の秩序を保つた。生物の出来かたの調節も必要であるが、地方において、これらも困難である。論をもち如何に掘り下げる、これ等の特殊事情と市

設備投資、昨年の倍

日銀福島支店調べ 産業界活況を呈す

日銀福島支店が九月の県内金融経済概況を発表した。県下の産業界は全般的に、景気の上昇につれて、受注、生産とも八月に引続いて増加の傾向にあり、設備投資も増加している。

宝くじ 夢も希望もデラックス
第122回 関東・中部・東北自治宝くじ
一等 200万円
抽せん...11月9日
受託 日本勧業銀行

九月末現在の供米量は約十五万トンで昨年と比べて変わらなかつた。これは田植えが例年より早かつたため、好天で結果が早められたため、伊勢湾台風の影響も小さかつたのである。順調な供米が予想されている。銀行預金増額は九月中二十八億円で昨年同月の二十六億円を上回っているが、これは公金預金が増えたこととみられる。一方貸出増加額は十六億円で昨年同月より十億円も多かった。購買資金のような季節資金の貸出しがふえたこと、増加貸出資金の需要が根強い。

あなたの秋の装は
百貨で
化粧品・洋品・アクセサリ 平駅前大通T5721
靴・鞆・ハンドバック 平市二丁目T5722
帽子 平市三丁目大通りT5723

大衆のデラックス
大キヤバレー
フラワー
平市田町 電話二〇〇四・五四四一

医薬品卸
神谷薬品株式会社
平市田町(新田町)
電話四三三一・四三三二

小児科
三井医院
院長 三井五郎
平市田町 電話二六一五

第 八 表

数業	種カバン	時計眼鏡	電気具	家具	医薬品	洋品	食料品
回転 全国平均 回転数均	五・四七	三・四五	四・四二	六・二七	四・三五	五・四三	〇・五
三回転%	一二・五三	〇・二〇	五・〇〇	二・五〇	三・三二	五・九	
五%	三七・五六	七・〇		三・三二	二・五	三・二	
八%	二五・〇		四・〇〇	八・三五	〇・二	一・一	
一〇%						二・三二	一・八
二〇%						五・六七	六・六
二〇%以上						一七・六	
答なし	二五・〇				一二・五	一六・七	四七・一

新聞とチラシの廣告

新聞の方が圧倒的に良い

平市内小売業者の実態

重なるはずだから。

8、商品回転率の調査は、店の経営の実態に即してゆく上から是非必要なことだが、実際の調査に当たっては困難を感じるのが常である。今般の場合でも回転率を求めるのに必要は資料と記録に乏しく従つてその店の経緯から判り出された推定によるものも大部あつたものと思はれる。それでも中小企業手調への全国平均と比べてみると、大差ない商品の動きをみることできよら。業種によつて回転率の遅速があるのは当然ながら、電気具のよつに店によつて売上の大小の差がはつきりしてききた業種では、回転率の上でも濃厚にその営業の状態を推し

電気具は暖房器具や夏季のための電気具製品の流行的な売行きで関連づけることができる。医薬品がその季節のものたらす疾病率の高さに応じて売上に変化を生じるともなる。この調査の場合、売上高の変化を金融的に又は数量的に掴みとれたかったが、経営者の経験からのみ結論づける他なかった。商品管理の徹底が期待される。

平商生の調査②

一年を通じて季節の変化によつて売上にどんな変化が生じるか。売上の多い順に考えてみた場合特にその間の変化を示したものが次の様であつた

電気具冬、夏、秋、春
医薬品夏、冬、春、秋
洋品洋服冬、春、秋、夏

天

新聞とチラシ

新聞の方が壓力的に
平市内小売業者の

て掘進（ほりえん）したいもの
関係した

の廣告

に良い

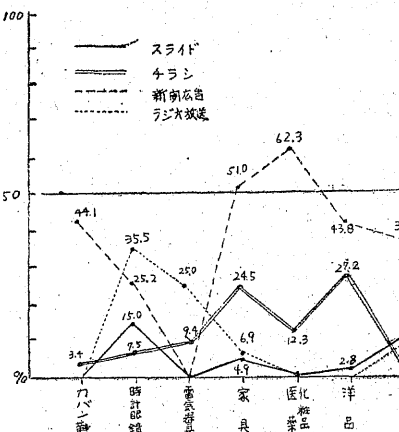
の実態

一答なしと答えた店が食料店の四七・一%を筆頭に何%か認められるのは、回転率の実態把握が難しいことを示すものと思ふ。

9、広告の目的は、商品に対する需要を増加させることであり、広告は売上高の結果ではなくて、売上高の原因としては、広告費が、

経営の大きな課題である。つまり、その点については、異なっているから、広告費が、

第十表 各種広告の平均に占める広告費の割合
(平均店を以てしたとして)



れと関連して新聞紙上の広告。併し、同じ業種の店の中

広告費	カバン	時計	電気具	家具	医薬	洋品	食料品
業種		眼鏡			化粧品		
の割合							
売上高に對し	七五・〇	六六・七	八〇・〇	八三・三	五〇・〇	七二・二	八二・四
一五%の店							
同							
一〇%の店	二二・五	二六・七	二〇・〇	一六・七	三五・〇	二三・三	一一・八

第11表 (2) 来店した顧客と買上客との割合

	カバン 靴	時計 眼鏡	電気具	家具	医薬	洋品	食料品
10%迄							47.0
20 "	37.5		20.0	16.7			
30 "	12.5					5.6	
50 "	12.5	16.7		83.3		5.6	
50%以上	25.0	83.3	80.0	7.5	100.0	88.9	17.6
答なし	12.5						35.3

云うこともあつて、年間の経費のうち広告費ととり出してみて売上高との割合を調べたのである。売上高と広告費の割合別に各業種の状況をみてみよつ。

商などは資本力も大きく、代表的専門店であるから販賣圏も広く、比較的広範地に亘つて広告を必要とし、従つてラジオの商業放送を利用することが多いと見える。食料品店でも老舗を誇る菓子舗では同じことが云えよう。広告の原初的形態であり、実配比率の高い新聞を媒体として用いるチラシ（折込広告）やそ

11、一日平均どの位の顧客が店に来るであつたか。こうしう調査は實際問題として、統計的に確實な答を求めることは困難である。その店の長年の経験から掴み取ることしかできない性質のものである。

100人送
200〃

のが次の表である。広告予算を定むる方法には幾つか考えられるが、平の商店では、そうした科学的な考え方によつて広告を行なつた様な経営には完全には成してないといふのである。電気具商や時計カメラ

の云々である。因藥化粧品は、メーカによつても行なわれているが、同時に商店間の競争が激しくその為には広告費の支出が大きくなつてゐるものと思へる。10、広告にも色々な手段がある。広告費中に占める各種広告の割合を調べたのが第11表である。この場合新聞広告は当地方に限られた購読者をもつ地方紙のことで

カバン靴	計眼鏡	電気具	家具	医薬
50.0	100.0	100.0	75.0	44.0
25.0			16.7	37.5

って広告の如何、売上高に対し5%という少
 ない広告費を答えている。家
 庭電化製品などは主として、
 メーカによって直接大規模に
 宣伝されているものであるこ
 とを示しているものと云えよ
 う。食料品の場合では、最寄
 品の特徴として広告よりサー
 ビスに重点がおかれているも
 のと云えよう。

食料品	単品
47.0	50.0
23.5	16.7

てでもどの程度の違いがあるかを
を知ることは、経営者の立場
からして必要なのであろう。
又、業種間にはどんな差がある
顧客のその商品に対する
購買慣習や需要の動向を知る
上から面白いものではないか。

500〃
1,000〃
1,000以上
答なし

と見て良い。

洋品や食料品などの統計を
ると、殆どの客が購買の
志をもつて店に来るものと
る。医薬化粧品のように
した客の八〇%のものが
客となるのであり、その
のもつ意味を端的に示して
る。

12.5	8.3	12.5	12.5
12.5			

市の特色であるし、ポスターなども個々の商店では少なからず懸けられてきたものに依り、存続しているのが現状である。

5.6	11.8
5.6	5.9
16.7	5.9
5.6	5.9

位の人が実際に買物をするかと言つて点を掘り下げて調べ比較検討してみよう。

食料品店や、洋品店など、店によってお客の吸収度合いが目立っている。半数の人が一〇〇人程のお客を相手しているのに、一部の店で一、〇〇〇人以上のお客を相手にする店まである。

デビロン
健康肌着

奥様ご存じですか？

ふしぎな肌着

大へんあたたくく、かるくて乾きが早く洗つてもちぢまず、かたくならない。その上マイナスの静電気を帯びて神経痛リウマチに効果のあるふしぎな肌着として好評です。ぜひテレビロン肌着をおためし下さい。

紳士用 上下各 六五〇円より
婦人用 スリーマー五〇〇円より

洋品の ツルヤ
平市四丁目 電4540

日新ゴム商会
大内近雄

株式會社 國井一美商店
代表取締役 國井一美
平市新川町 電二六九六

内外青果物委託問屋

柔かい
神戸牛

綠屋肉店

神戸・鎌倉特約店

真劍に研究の必要性

だが立退料は未解決

野天風呂

四年前の店名入り地図発見

平市内変貌の跡
(五)

人車の往来繁く発展の南町

酒家

グラスを手に…
深みゆく
秋の夜のひととき
君と語らん
夢を…
むかしを…

今月から寄附募集

平商五十周年記念事業

会は来る十一月三日平演武場で開く。

鉄筋コンクリート三階建とする。投資額二五〇万円。

2、寄付金 一口二〇〇

て工費七千五百三十万円の半
は二口以上、JTA会員は生

果今月から募集に着手すると
月三十七年三月

▽目標額二、八五〇万円、P
(2)PTA会員は在校生を通じて

市町村八五〇万円、卒業生関
は委員で取りまとめて送金す

草野ミシン店、志賀医院、斉

5) すべて寄付金は印内でごま

丸母、小松屋旅館、上田医完

都度所定の受領証を差上げます。

平商高校舎改築期成同盟会

平一中の壇子拳論はこのように

建物であった。

コーヒーと洋酒の店
ムーン・レイ
平市2丁目 TEL 2888

平の代表的土産品

平の生んだ世界的作曲家八橋検校の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する

中夜六

六段本舗 平 凡 平 駅 前
電 2 5 0 9

いつも良い品を選んで奉仕

中野洋品店

平市二丁目 電 二〇五三

精がつく薬

パント錠

副腎・肝臓強化

合資会社

堀藥局

平市二丁目電2326

王好之
 割烹
 平市
 月酒家
 重二云〇四

南北朝岩城史(八)

伊賀氏と国魂氏と

高 萩 精 玄

幾度かの苦しい戦いを終えて、防備の極めて厳重な南都奈良の地に入られて一息ついたのは二月二十一日のことであった。ここから再び太平記の記述を引用すれば、南都奈良に到着して汗馬の足を休めて諸卒に向って合戦の意見を問うければ、白河結城入道進んで申しけるは「(中略)只此御勢を以て都へ攻め上り、朝敵を一時に追ひ落すか、若、然らずばかねを主城の土に埋み候はんこそ本意にて候へ」と誠に余蘊なく申しけり。南都奈良もこの講にも甘んじられぬので、直ちに北上して京都に攻め入ろうとした。この戦に驚いた南都奈良は東国より入京した桃井直常兄弟を頼家初撃のために下向せしめた。ここに南都奈良は再び戦塵に捲かれ、国魂文書所蔵の二十八日の奈良合戦が起つたのである。奈良合戦は東大寺附近、法華堂附近、手塚小路等で激しい戦いが行われたが、国魂行泰もここを先途と支へ戦いしかども長途の疲れ武者、何にかは叶つべき力及ばず頼家は河内國に退くのをむなむに至つたので、頼家、宗良の同親王は結城奈良、伊達行朝等とともに吉野に赴かれた。多年辛苦を共にせられた頼家親王と頼家との間には再び相い合う機会は永久に訪れなかつたのであった。

頼家は摂津、河内、和泉の地に転戦して、よその陣營を襲え、三月八日には、天王寺(大阪市南区)に進出して細川兵部少輔頼氏等の主力をわって奮戦力闘している。

翌十六日、師直、師冬を主將とした天王寺給討戦にも、国魂行泰は参戦している。この度は、頼家郷の官軍ども疲れて、而も小勢なれば、身命を棄てて支へ戦つたといふことも、軍利なくして諸卒散々になりとの太平記の記述から見ても、官方の敗北によつて、天王寺をめぐる攻防戦はその幕を閉じたのであった。かくの如く、国魂行泰は、異郷においても、連日文字通りの力戦を続けられたのであった。

× × × × ×

天王寺の一戦に、矢張り高師直は、頼家討伐のため都を離れたので、諸軍大いに馳せ集まり、八幡山下四方に尺地も残らずに満ちたりと云ふ状況であった。十三日には、早くも攻撃を開始し、八幡洞が頼家において激戦が行われたが、頼家は要害によつてよく防戦し、一歩もゆるがなかつた。わが国魂行泰は頼家と行をともにして、この合戦に参加している。

男山を攻めあげた師直は、時局を急急に収拾するため、八幡には大兵を止め置いて、四方を囲み、その行動の自由を拘束し、師直自らは、頼家の本軍を攻撃する為に、男山を出発し、翌十四日には天王寺に布陣した。次いで十五日、頼家は、上杉重能の軍と摂津の渡辺で接触し、大勝を博したのであった。急ぎ男山を引き上げ援軍として敵を追撃した国魂行泰はこの戦に加つて奮戦力闘している。

× × × × ×

頼家の戦死後、部下の將士は絶たれて七月十一日終に落城して、男山八幡に戦死した春日頼國、源持定、源家房以下奥州の軍勢その数を知らずの記載がある。

武家方は、高師直が再び男山に引き返し、大軍を以て押し寄せ、七月二日には善法寺口の合戦、放生会川の合戦、大渡方面の合戦があったけれども、城兵は更に屈しなかつた。五日、武家方は、いよいよ男山に迫り、その夜ひそかに開きをはてして男山に火を放つたので、さしずめ頼家を極めた八幡宮は一朝に灰燼に帰してしまつたのであった。

しかる城兵は、一歩も退かす悲壮なる決意のもとに防戦を続け、八日、後詰の河内軍が八幡洞において武家方に撃破せられるに及んで、糧道を絶たれて七月十一日終に落城の悲運を見るに至つたのである。わが国魂行泰も昨年八月故郷の山河に別れる告げから、殆んど二年、その行程幾百里、苦戦に苦戦を重ねてしかるその状況はもうくもに淋しくも再び故郷の月を見なければならなかつた。英雄の心中察するに余りあるものがある。

北國の雄新田義興も頼家の戦死におくれのことと云う、今年閏七月二日越前の國は藤島灯明寺で流れ矢にあたつて戦死するに至つて、南風頭に競つて、潤落の秋を知つたのであった。

(筆者は内郷高師直)

道歌の解説

天地と神と星とのめぐみにて、世を安んずる徳に報えや天地の君と親とのめぐみにて、身を安んずらん徳を報えや

これらの歌は徳の教の大本をなすもので、おたがい生命をうけて地上に生まれ百姓をしたり、いろいろの職業を営みつつ、日々を安らかに生活のできるのには、天地の神の徳や、皇徳や、親祖元の徳によるので、その恩徳に報ゆることが、人間の道として最も根本の道であります。いふまでもなく恩徳はたがひ食物の恩、人の恩、社会の恩といふように、あらゆるものにあらゆる恩があるが、天地の神の恩、皇徳の恩、親の恩といふものは、その大本をなすものであって、恩徳に報ゆることを実行するのが、報徳の道であるのみでなく、人の道の大本であります。

庚寅会総会
庚寅会総会は二十五日内郷市ヘルス・センターで開き、住みよい郷土建設などを話し合つて後宴会を催した。当日の出席者左の通り
▽来賓野沢さし▽会長大塚三善▽幹事高橋武雄、同夫人菅波国富▽会議員山崎、同夫人真吉郎、大平喜一郎、同夫人田原登、門馬清、渡辺善吉、熊谷長一、中島陽治、遠藤菊次郎

輪競平

場外 福島 郡山 若松 平

11月23日

味覚の秋

松たけ 釜めし 土瓶むく ほうろく かしわ炊き 茸

通人の好む蒲焼はいまからの下りうなぎ

矢野商会
平市才榎小路店 電話三〇二一
平市紅小路店 電話二七二七

国産品の誇り

大平洋服店

最新式ししゅう用シンガーミシン新設

大平洋服店ネーム部

平市堂の前 電話三九七二

技術と勉強の店

斉藤洋服店

注文洋服専門店

平市二丁目 電話五〇〇六

静かな部屋、家庭的サービス

旅館 よし川

宴会にもご利用下さい

平市田町 電話二二八二

会株 社式 常磐ヤンマー製作所

平市二丁目 電話四三二六・四三二七